

# 徳島子どもと教育

## 徳島県教職員の会

〒771-0017徳島市川内町鶴島115  
黄金ビル 徳島労連事務所内  
携帯 090-2891-5189  
TEL 088-665-6644  
FAX 088-665-2117  
eメール dp12287892@pf.lolipop.jp  
2016年5月1日 No.206

## 教職員の会が、2年あまり取り組んできた **臨時教員の「厚生年金・健康保険の継続」を実現**

臨時教員の任用期間は、4月1日から3月30日までの場合が多く、3月31日は「空白の1日」となっています。そのため、月末を基準日とする厚生年金や健康保険が継続せず、この「1日」のために、臨時教員は、国民年金や国民健康保険への切り替えを行う必要があり、大きな負担でした。徳島県教育委員会は、実質的には任用が継続しているにもかかわらず、年金・保険を適用せず、保険料負担を逃れていました。全国的に同じ問題があり、各地で臨時教員が声を上げ、教職員組合などが改善を求めて、年金事務所や教育委員会と交渉を行い、いくつかの県では独自に「継続」が実現していました。

## **国会の質問で、厚生労働省が通達を出す**

この各地での運動を受けて、2013年11月28日参議院文教科学委員会で日本共産党の田村智子議員がこの問題が取り上げ、厚生労働省は「事実上の使用が継続していると認められる場合には被保険者資格は継続する」と回答しました。そして、2014年1月17日厚生労働省から年金機構に「…事実上の使用関係が中断することなく存続していると、就労の実態に照らして判断される場合には、被保険者資格を喪失させることなく取り扱う必要があります」という通達が出されました。

## **県教委へ今年度の実施を要請し、実現**

この通達に基づいて、私たち徳島県教職員の会は、2014年3月に、県教委に対して要望書を提出し、「継続」を求めましたが、実施されませんでした。そこで、2014年6月、徳島北年金事務所を訪れ、早期に県教委に周知・指導を行うよう要望書を提出し、申し入れを行いました。

2014年10月の県教委への陳情では、「継続」実施を強く求めました。県教委は「他の都道府県の動向を注視しながら適切に対応したい」との回答でしたが、年度末には実施されませんでした。2015年10月の陳情でも県教委は「他県の動向を見て判断したい」として、実施を明言しませんでした。そこで、教職員の会は「全国の動向は、はっきりしている。今年度実施しないのは、あと数県である」「全国で最後になるのか」と厳しく今年度の実施を求めました。これにたいして県教委は「今年度実施も含めて、検討する」と回答しました。そして、やっと今回の「継続」実現となりました。

# 臨時教員アンケートに183名(過去最高)から回答

今年2月に、県下307校の小・中・高・特別支援学校へ郵送した臨時教員アンケートに、183名の方から回答がありました。これは、過去最多の回答数となりました。県下には、約1200名の臨時教員がいますから、15%以上の臨時教員が回答したことになります。中には、10名以上まとめて送ってくれる学校や、びっしりと自由記述を書いているアンケートもあり、臨時教員のみなさんの思いをしっかりと受け止めなければと、思いをあらたにしたところでした。ご協力いただいたみなさんありがとうございました。

## 臨時という立場ならではの苦悩が…

「臨時教員として感じることは」との質問に対し、最も多かった回答は、「将来への不安を感じる」で、140名(約77%)でした。正規採用や次年度の勤務など何の保障もない臨時教員の不安定さを物語っています。次に97名(約54%)は、「長い目で子どもの教育を見ることができない」という感想を持っています。生徒を理解し、その成長を見守っていく教育には、時間が必要です。雇用期間が1年未満の臨時教員は、生徒を知り、学校に慣れてきた頃に、その任期が終了となります。臨時教員という働き方の持つ本質的な問題点です。この後、「経済的に苦しい」「結婚をためらう」「子どもを持つことをためらう」などが続き、人並みの生活さえできない臨時教員の苦悩が表れています。

## セクハラ・パワハラ、「退職強要」が増加

「臨時教員として経験したこと」で、一番多かった「仕事の連絡が直前で困った」76名(約42%)、続いて「引き継ぎのために勤務日でないのに出勤した」が48名(約27%)でした。引き継ぎ日を設けることも多くの臨時教員にとって切実な問題です。「セクハラ・パワハラを受けた」は、23名、約13%で、過去最高でした。「病休・産休をとろうとしたら退職を強要された」が13名、「任期が残っているのに退職願を書かされた」が4名もいるのは、驚きで、重大な問題です。

## 自由記述に寄せられた臨時教員の声 \*一部省略しています

◎引き継ぎのために勤務日でないのに出勤するという経験をこれまでの任用校で何度もした。管理職は「事故に気をつけてこい」と言うだけ。今の立場ではどうてい生徒に夢など語ることはできない。来年のことを考えながらおびえて仕事をしている。もう限界かもしれない。

◎(教員採用審査について)正直なところ、悪いうわさが絶えません。教諭のご子息、かつての教え子、委員会につながりがある人が、うわさ通りに合格することがほとんどです。書ききれないほどの話を耳にします。委員会の長や上層部にいる方の経歴や知人、していた専攻や部活動によって採用する人が予想され、その通りになることも常で、一生懸命努力している自分が情けなくなります。

## 徳島県教職員の会 総会

日時：8月27日(土) 13:30～16:00 場所：徳島生協 コープ住吉店

\*早めに、日時・場所が決まりました。予定を空けておいて、ぜひご参加ください。